

マクちゃん通信

2010 6-7 vol. **2**

絵本原画展
せなけいこ

特集
大人と絵本



寄贈絵本のご紹介

ご寄贈いただいた最新絵本の中からスタッフのおすすめの絵本をご紹介します。



「ひみつだから!」
ジョン・バーニンガム/作
福本友美子/訳 岩崎書店



「トッキーさんのボタン」
かとうまふみ/作
イーストプレス



「カクレクマノミは 大きいほうがお母さん」
鈴木克美/作 石井聖岳/絵
あかね書房



「やさいむらのなかまたち 春」
ひろかわさこ/作
偕成社



「おひめさまようちえんのにんぎょひめ」
のぶみ/作 えほんの杜



「センシュちゃんとうおつちちゃんのパナナじま」
工藤ナリコ/作 小学館



「かえんだいこ」
川端誠/作 クレヨンハウス

道具屋の甚兵衛さんが仕入れてきた「古ざない太鼓」。はたきをかけただけで「ドンドンドン」と鳴る太鼓の音を聞きつけて、お殿様がお買い上げになることに。甚兵衛さんとおかみさんの掛け合い、オチにも大笑い!川端さんの絵本ならではの演出にもご注目ください。



絵本館日記

●2月25日(木)

この季節に多い「おわかれ遠足」の団体利用。今日も富山市から保育園の年長さんたちが思い出づくりの遠足に來られました。ワイクショップでバズルづくりを楽しんだ後、カフェでランチ。ちよびり大人気分を味わって、とても満足気な笑顔を見せてくれました。

●2月26日(金)

資料整理のため休館日。平成22年度版「おすすめ絵本50」を6名のスタッフで選びました。事前に200冊ほどに選ばれていますが、2時間にもわたる議論の末、決定。命や家族の絆を伝える絵本、ユーマスで心が和む絵本など、赤ちゃんから大人まで、読んでほしい50冊が勢ぞろい(P4掲載)。自信を持っておすすめします。

●3月4日(木)

朝のミーティングで受付スタッフから「きのうお客様からこんな感想がありました」との報告。ある年配の女性が、田中清代さんの「ねえだっこして」の原画展をご覧になり、「今になって、ようやく姉の気持ちがあわかったような気がしました。」とおっしゃっていかれたとのこと。来館をきっかけに、大切な人への思いがさらに深まったということはおうれしい限りです。

●3月21日(日)

創作教室最終回。特別講師に今井りえさんをお迎えし、バステルの使い方、三原色からたくさんのお色を作る方法を習いました。平成21年度は登録家族176に対し、48家族が皆勤賞。たくさん通っていただき感謝です。新年度への継承者も多く、私たちがやりがいを感じられた一日でした。

●3月25日(木)

月に一度の高井進理事長ミーティングの日。今日のテーマは絵本講座。「日本の五大お伽話は何?」「言葉とは?」「奈良絵本とは?」「講談社の絵本の創刊はいつ?」と理事長からの質問。「スタッフの教養は館の評価にもつながる」との叱咤激励に背筋を正した私たちでした。

(記録・麦谷)

利用案内

開館時間	10:00~18:00	交通案内	北陸自動車道小杉I.C.より車で10分 富山空港より車で40分 JR高岡駅より車で20分 JR小杉駅・越中大門駅より車で5分 富山地铁バス・富山高岡線「赤井口」下車徒歩7分
休館日	毎週月曜日(祝日の場合翌日) ※月1回資料整理日 年末年始(12月28日~1月4日)	駐車場	約60台
入館料	大人500円、中高生300円、小学生100円 ※団体20名以上は2割引 ※各種福祉手帳をお持ちの方は無料	家族フリーパス	年間5000円で、ご家族全員1年間無料 (射水市在住の方は3000円)
フリーパス	親子フリーパス 射水市在住で、小学生未満のお子様と保護者の方は無料	いみず子どもフリーデー	射水市在住の小中学生は 土・日・祝日に限り無料
		ラジオテレビ	■いみずケーブルテレビ(8ch) 毎日/6:30、11:30、16:00、18:00、22:45 「五郎ネット」内 ■ラジオたかおか(FM79.2MHz) 第1・3・5水曜/12:40~「こみち」準765」内



射水市大島絵本館
OSHIMA MUSEUM OF PICTURE BOOKS

マクちゃんは絵本館のシンボルマークです

〒939-0283 富山県射水市鳥取50
TEL 0766-52-6780 http://www.ehonkan.or.jp
FAX 0766-52-6777 E-mail ehonkan@po9.canet.ne.jp

せなけいこ

やっぱり子どもものいる世界が
一番楽しいですね。
本って楽しいですね。
作っても読んでも。



撮影 大志摩洋一

せなけいこ プロフィール

東京生まれ。御茶ノ水女子大付属高校卒業。武井武雄に師事し、童画を学ぶ。貼り絵による独自の作風で表情豊かな世界を表現し、これまで100冊近くの作品を手がける。1970年「いやだいやだの絵本」シリーズ(福音館書店)でサンケイ児童出版文化賞を受賞。「めがねうさぎ」シリーズ(ポプラ社)は、今年35周年にあたる。7月には新刊「ねこふんじゃった」(ポプラ社)刊行予定。

30年以上読みつがれる数々のベストセラー絵本の作者、せなけいこさん。子どもたちが大好きな童謡を題材にした『おばけなんてないさ』、めがねをかけた姿がチャーミングな『めがねうさぎのうみぼうずがでる!!』2冊の絵本原画展を開催します。温かみのある貼り絵で表現された世界は、優しくユーモアたっぷりに語りかけてくれます。

せなけいこさんにインタビュー

絵本作家になっただけは？

それはもう、絵が好きだったから。特に武井先生の絵が好きだったから、ああいうことをやりたいなと思って。武井先生の絵に出会ったのは1、2歳のときですけどね。19歳で弟子入りしました。今回、原画展を行う絵本の制作秘話や思い出などを教えてください。

「おばけなんてないさ」

あの歌は子どもが大好きで、私も好きだったから、それに絵がつけられたらいいなと思って。この絵本を作っていて一番嬉しかったのは、作曲家の峯陽(みねよう)先生にお会いできたことですね。

「めがねうさぎのうみぼうずがでる!!」

「めがねうさぎ」は、子どもが小学校に入ってから、身体検査でめがねをかけろと言われ、思いつきました。シリーズはこれで最後。理由のひとつは、うさぎの服の紙がなくなってきたから。あの千代紙は、昔はどこでも売ってたんだけど最近はどう見なくなりましたからね。一度キャラの服を決めたらもう変えない方がいいと思って。

おばけが泳げないのは自分が泳ぎが下手だから(笑)。いっぺん海に行ったら、ボートから海におりたら背が屈かなくておばれそうになりましたよ(笑)。

世代を超えて読みつがれている絵本も多いですね。その人気の秘訣は？

さー、そういうのは自分にはわからないわね。でも、絵本は自分の子どもや近所の子どもたちとおしゃべりしているつもりで作っています。だから、子どもさんもわかってくれるんじゃないですか。

貼り絵の魅力は？

何だろう。兄弟子にならって、そのまま素直にやりました。絵の具で描いたら、器用な人はたくさんいるでしょ。私みたいに不器用な人はいいかも、と思い、やってみたら面白かったんです。

絵本制作の過程で大変なところ、楽しいところを教えてください。

大変なところは、テーマを決めるまで。下書きが一番つらいですね。なにかのときに、はっと思いついたりしますね。机に向かっているとだめ。電車の中や、子どもと遊んでいるときとかアイデアが出やすいですね。反対に、筆がのって

いると楽しいですね。ストーリーがするするするとき、それは楽しいですね。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

3人目の孫が生まれましたから、また小さい子のために。それに近所にもなかなかの子どもがいらっしゃいますから、そういう子のために描いていきたいですね。母親として子育てを振り返ってみていかがですか？

そうですね。あまりサービスのいい親ではなかったですね(笑)。絵を描いたり、やることがいっぱいありましたから。でも、子どもがいてやっぱり良かったですね。本作りにも助かったし、本を抜きにしても、子どもと暮らすのは楽しいですよ。

ご趣味はお持ちですか？

何でしょうね。やっぱり本を読むこと、集めることですね。古本、新刊すべて調べますよ。

好きなことばをおしえてください

「精神一到何事か成らざらん」です。

せなけいこさん、ありがとうございます。絵本が大好きで子どもが大好き。子どもとの生活に寄り添った視点で描かれる絵本は、これからも世代をこえて愛され、読みつがれていくでしょう。

※表紙「おばけなんてないさ」(ポプラ社)より



絵本原画展開催
5月29日(土)〜7月29日(木)

原画展示絵本

「めがねうさぎのうみぼうずがでる!!」(ポプラ社)



せなけいこさんのサイン入りの絵本を3名様にプレゼント!

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
「せなけいこ絵本プレゼント係」
締め切り 平成22年7月30日 消印有効

※発送は発送をもって代えさせていただきます。

特集 / 大人と絵本

自分のための絵本を探す

とても残念なことだが、いまだに多くの人が「絵本＝子どももの」という思い込みにとらわれている。仕事柄絵本をお勧めする機会がよくなるにつれ、大人の方からは「もう子ども（あるいは孫）が大きくなったから」と、やんわりお断りされることが多い。私は子どもの頃に絵本を読んでもらった覚えがない。ただ、自分で選んだ1冊ははっきりと覚えている。「カロリーヌのせいかいのたび」という女の子が主人公のお話である。「小学館オールカラー版世界の童話」シリーズの中の1冊であった。金色のボール紙で作られたケースや表紙絵を今でも思い出している。

その絵本の中に、今なお忘れられない2つの場面がある。ひとつはカナダに出かけたカロリーヌと仲間たちが、楓の幹からあふれる甘い樹液（メープルシロップ）をなめるというもの。もうひとつはヨーロッパでの自動車レースのお話で、ポウリングボールのようなチーズが道路いっぱい並べられていたオランダでのひとコマ：幼いながら、外国には不思議な食べ物があるなあと、わくわくしたものである。

大人になった今でも「おいしいもの」が描かれた絵本には弱い。その他に私

が好きであることを確信するのは「奇想天外」「手づくり」「旅」「植物」が盛り込まれた絵本である。また、大島絵本館での原画展をきっかけに手にした絵本、同様に薦められた絵本、好きな作家のエッセイで紹介されていた絵本など、現在でもお気に入りの絵本はどんどん増えていく。これらは子どもや孫のために選んだ絵本ではなく、私自身のために選んだ絵本である。

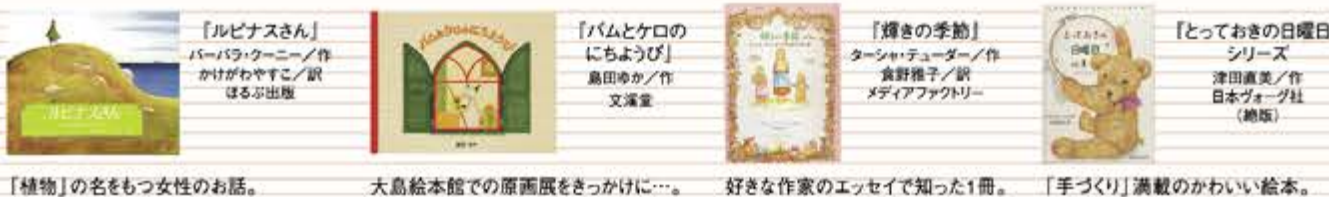
絵本は一般の書籍に比べて圧倒的に文字が少なく、その分絵本には吟味された言葉が散りばめられていると私は思う。あれだけの少ない文字でなんと多くのことを伝えてくれるのだろう。すべてが単純だった子ども時代に比べ、大人になるといろいろなことが複雑になっていく。しかしながら本来、世の中はいたってシンプルなのだということを絵本は体現してくれているかのようだ。

絵本は決して子どもだけのものではない。子ども向けの絵本もあり、そうでない絵本もある。そして、だれかのために手にする絵本がある一方でただ自分のため、自分の「楽しみ」のために手にする絵本もある。大人の方にこそ、他のだれかのためでなく、自分のための絵本探しをおすすめしたい。

私のおすすめ絵本



「ぼくを探しに」シルヴァスタイン/作 斎藤由美子/訳 講談社
 「おもちゃのきもち」かがくひろし/作 講談社
 「カロリーヌカナダへいく」ビエール・プロブスト/作 やましたはるお/訳 BL出版



「ルピナスさん」バーバラ・クローニー/作 かがくひろし/訳 ほるぷ出版
 「バムとケロのちよび」島田ゆか/作 文庫堂
 「燗きの季節」ターシャ・チューダー/作 斎藤由美子/訳 メディアファクトリー
 「とっておきの日曜日」シリーズ 津田真美/作 日本ヴォーグ社 (絶版)

「植物」の名をもつ女性のお話。 大島絵本館での原画展をきっかけに... 好きな作家のエッセイで知った1冊。 「手づくり」満載のかわいい絵本。



西 小百合
射水市大島絵本館企画係長

エンジェルズレポート

「エンジェルズ」は大島絵本館で活動するボランティアさんです。

絵本とお話のひろば

3月27日
一杉さんの日誌より

「春」をテーマにメニューを組みました。子どもが興味をもってくれた場面と、おかしな場面があり、よかったです。最後は「HAPPY SONG」に手拍子で参加してもらいました。「おっぱい」は小さな子が集中して見てくれました。



ボランティアさん募集中
いっしょに活動してみませんか。

イベントレポート

今井りえ「三原色で楽しいパステル教室」 3/21-22

平成21年度最終回の創作教室では、イラストレーター今井りえさんを講師に迎えました。赤・青・黄の3色があれば、ほとんどの色を作れると話す今井さん。参加した子どもたちは、3原色のパステルを削り、綿で画用紙に塗っていきます。色を重ねていくと、7色になりました。現れる別の色に、歓声が聞かれます。

その後、テンプレートや綿をつかって、丘や家、星、木を描き入ると、パステルの繊細で優しい色にびっぴりたるメルヘン画が仕上がりました。絵が苦手な子ども、大人も楽しめる大満足の教室でした。



絵本館 おすすめ絵本50冊

- | | | |
|--|---|--|
| <p>【よちよちえほん】
「あけてあけてえほん シリーズ」
新井洋行/作・絵 集英社</p> <p>【あめばばば】
ひがしなおこ/作 きうちたつろう/絵 小嶋出版</p> <p>【おしとこまんじゅう】
かがくひろし/作・絵 ブロンズ新社</p> <p>【こんこんなこ】
ますだゆう/作 村上康成/絵 そうえん社</p> <p>【にんじんとごぼうとだいこん】
日本民話 和歌山静子/絵 絵本出版</p> <p>【よくきたね】
松野正子/作 鎌田暢子/絵 福音館書店</p> <p>【わかしわし】
【おむすびころりん】
いもとようこ/作・絵 金の星社</p> <p>【かえんだいこ】
川島誠/作・絵 クレヨンハウス</p> <p>【スーホの白い馬】
大塚勇三/再話 赤羽末吉/絵 福音館書店</p> <p>【めいさく童話】
「シンデレラ」
ペロ/作 真鍋子/絵 天沢通二郎/訳 三起舎行</p> <p>【てんとくつやさん】
トルストイ/原作 藤洋子/文 かつやま/絵 葎社</p> <p>【花さき山】
斎藤隆介/作 海平次郎/絵 岩崎書店</p> <p>【人いのか】
「赤いポストといしゃさん」
黒くみ/作 黒井健/絵 ポプラ社</p> | <p>【あのか】
山本けんぞう/作 いせひでこ/絵 平凡社</p> <p>【いのちのおはなし】
日野原重明/作 村上康成/絵 講談社</p> <p>【ちいさなあなたへ】
アリス・マギー/文 ピーター・レイノルズ/絵 ながわらひろ/訳 主婦の友社</p> <p>【ちよっただけ】
瀧村有子/作 鈴木永子/絵 福音館書店</p> <p>【100かいだてのいえ シリーズ】
いわたしお/作・絵 集英社</p> <p>【はれのあたらしいふく】
エルサ・ベスコフ/作・絵 おのでもりこ/訳 福音館書店</p> <p>【ぼくちんちん、マツイヒデキ?】
あさのますみ/作 飯野和好/絵 学研</p> <p>【もったいないばあさん シリーズ】
真珠美子/作・絵 講談社</p> <p>【いさも】
【くまのがっこう シリーズ】
あいはらひろゆき/作 あだちなみ/絵 ブロンズ新社</p> <p>【じぶんだけのいろ】
レオ・レオニ/作・絵 谷川俊太郎/訳 好学社</p> <p>【ちゅーちゅー】
富田達也/作・絵 絵本出版</p> <p>【にじいろのしまうま】
こやま隆子/作 やなせたかし/絵 金の星社</p> <p>【ブラウンさんのねこ】
スラウミール・ワルスキー/作 ヨゼフ・ワイル/絵 ほんぷ出版</p> <p>【十二支のかぞえうた】
さいとうしのぶ/作・絵 佼成出版社</p> | <p>【ものしりえほん】
【動物のえほん】
高野紀子/作・絵 あすなろ書房</p> <p>【しごとば シリーズ】
鈴木のりたけ/作・絵 ブロンズ新社</p> <p>【だいすきせん シリーズ】
アレーベル/絵</p> <p>【詩・ことばあそび】
【お母さんのたからもの】
永田泰/作・絵 理論社</p> <p>【ことり】
まど・みちお/詩 南條直子/絵 小峰書店</p> <p>【へんしんトンネル シリーズ】
あきやまだし/作・絵 金の星社</p> <p>【芸術】
【旅の絵本シリーズ】
安野光彦/作・絵 福音館書店</p> <p>【BとDとRとD】
酒井静子/作・絵 白泉社</p> <p>【しかけ絵本】
【あそびにおいでよらまめくんのうち】
なかやみわ/作・絵 小学館</p> <p>【POP-UP BOOK はらべこあむし】
エリック・カール/作・絵 もりひさし/絵 集英社</p> <p>【つくろうあそぼう】
【今森光彦のやさしい切り紙】
今森光彦/作 角川書店</p> <p>【紙のからくり カミカラ】
中村昌巳/作 インフォレスト</p> |
|--|---|--|

大島絵本館スタッフが選んだ平成22年度のおすすめ絵本！ ショップにて取り扱っています。

8・9月イベント

シアター

絵本セミナー「いのちの絵本」

■とき/8月8日(日)14:00
 ■料 金/大人2000円・小中高生800円
 ■出演/児玉清(俳優)、剣 幸(俳優)、村上信夫(アナウンサー)

子守唄ファンタジー

■とき/9月12日(日)14:00
 ■料 金/大人2000円・小中高生800円
 ■出演/小林 登(医学博士) 西館好子(子守唄協会代表)

カフェギャラリー

■上田勝美 小さな小さな版画展
 ■とき/7月31日(土)〜8月15日(日)
 ■浅井洋子 織展
 ■とき/8月17日(火)〜8月31日(火)
 ■和雑貨 萌木 作品展
 ■とき/9月2日(木)〜9月15日(水)
 ■左近智恵子 WOOL展
 ■とき/9月16日(木)〜9月29日(水)

ギャラリー

アンパンマン絵本原画展

■とき/7月31日(土)〜9月29日(水)
 ■展示原画
 「ハヒーのたいぼろけん」
 「アンパンマンとホラオナ」
 「ともフレール」

